

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第23回ふれあいわんぱく体験学校 in 中野
事業主体 (連絡先)	信州中野ふるさと交流団 中野市豊津14-1 TEL0269-38-3673 坂本富士雄
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,196,752 円 (うち支援金: 796,000 円)

事業内容

団設立10周年の記念事業として、自然環境を観察、学習するため、埼玉県坂戸市・中野市両市の子どもたちが千曲川でラフティングを体験した。また、協調性を養い友達づくりの輪を広げるためキャンプを開催した。

実施期間 平成28年7月31日(日)～8月1日(月)
参加人数 中野市子ども20名 役員15名
坂戸市子ども35名 役員9名
合計79名



【ラフティングでの集合写真】

【目標・ねらい】

- ①交流会を通じて、両市の子どもたちの健全な心と協調性や自主性を養う。
- ②中野市の特色をPRする。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① キャンプなどを通し子どもたちの健全な心と協調性、自主性が培われた。また、毎年事業を実施していることにより両市の交流が深まり、個々に連絡をとり交流を続けている子どもたちもいる。
- ② 歓迎式でふるさと太鼓のおもてなしをしたり、交流会の食材は地元のものを使用するなど、中野市のPRを心がけている。平成26年には、この事業がきっかけとなり、坂戸市と中野市が、災害時における相互応援協定を結んだ。

※自己評価【A】

【理由】

子どもたちからは、新鮮で楽しかった、友達もできたなどの感想が多くあり、とても充実した交流会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も本事業を続けていくことにより、より一層の市民交流を図り、中野市をPRしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある